

お世話になっている皆様方へ

新年も、半月が過ぎようとしております。

皆様におきましては、輝かしい新年をお迎えされたこととお慶び申し上げます。

長年（18年目）皆様にお支えいただきましたことを改めて感謝申し上げますと共に、今後にご幸甚を賜りますようお願い申し上げます。

唐突ですが、私は昨年より「ありがたい」という言葉に心を留めることが多くなりました。入院中の母親とも、一日を振り返り「今日ありがたいと感じた事」をお互いにふりかえるようにしています。なぜなら、今の自分の状況や今後の心配で混乱する母親の心が、少しでも「幸せ感」で一日を終えられるように・・・と考えたからです。母親は「ありがたいと思える人間は幸せやなあ。」と度々つぶやきます。おそらく、不安感が増している時は、それどころじゃないのでしょう。

また、年末には学童クラブの子どもたちに「1年を振り返り、ありがたいと感じた事」を聞いてみました。「ぼくが転んだ時に、いっぱいのお友だちが大丈夫？と駆け寄ってくれたこと。」「毎日お仕事で疲れてるのに、いつもわたしに優しくしてくれるお父さんやお母さん」・・・つたない言葉で自分の「ありがたい」を話してくれた子どもたちでした。

私は「ありがたいなあ・・・と思える心が育っていることが大切なことなんだよ。えらいね。」と伝えました。この世の中、多様なサービスが溢れかえり「ありがたい。」と実感することをしっかりと感じ合う環境が少なくなってきました。私たちは、日常のコミュニケーションのなかで、「実感」を分かち合いながら、朗らかな気持ちで過ごせる環境をつくりたいと思っています。

末筆になりましたが、児童館だよりを同封しております。12月の行事報告も僅かながら掲載しております。お目通し頂ければ幸いです。

厳寒の折、皆様どうぞお身体ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

1月の半ばに



社会福祉法人健光園
ももやま児童館
波多野 里美